

展示室	No.	作者名	作品名	時代	所蔵
第1章 近世の漆工					
2階	1		梅花皮蛭巻鞆脇指拵	江戸時代（18世紀）	永青文庫蔵
	2		花筏蒔絵小鼓胴	江戸時代（18世紀）	
	3		桜折枝散提重	江戸時代（19世紀）	
	4		飛鶴蒔絵棗	江戸時代（19世紀）	
	5		蛤蒔絵香合 銘 磯の波	江戸～明治時代（19世紀）	
	6		桜折枝散蒔絵鼓箱	明治時代（19世紀）	
	7		諫鼓鶏形牡丹唐草蒔絵香箱	明治時代（19世紀）	
	8		舟形波千鳥蒔絵煙草盆	明治時代（19世紀）	
	9		曆盤蒔絵六角香箱	明治時代（19世紀）	
3階	10		菊蒔絵印籠	江戸時代（18～19世紀）	永青文庫蔵
	11	二代 飯塚桃葉	猪木立蒔絵煙草入	江戸時代（19世紀）	
第2章 高野松山と近代の工芸					
3階	12	白山松哉	白菊蘭奢待香桶	大正4年（1915）	永青文庫蔵
	13	高野松山	獅子蒔絵色紙箱	昭和2年（1927）	
	14	高野松山	蓬萊模様手箱	昭和9年（1934）	
	15	高野松山	狩猟文鏡箱	昭和10年（1935）	
	16	高野松山	初夏文庫（麦に燕模様）	昭和11年（1936）	
	17	高野松山	菊蒔絵盆	昭和10年代	
	18	高野松山	菊蒔絵香合	昭和10年代	
	19	高野松山	蓮蒔絵香合	昭和10年代	
	20	高野松山	波蒔絵香合	昭和10年代	
	21	高野松山	花蝶文香合	昭和10年代	
	22	高野松山	牡丹文香合	昭和10年代	
	23	高野松山	桐蒔絵香合	昭和10年代	
	24	高野松山	菊散丸香合	昭和31年（1956）	
	25	磯矢完山	石楠花蒔絵螺鈿文庫	明治～昭和時代（19～20世紀）	
	26	松田権六	双魚文漆絵皿	昭和7年（1932）	
	27	平櫛田中	気楽坊	昭和44年（1969）	
	28	宇野仁松	釉裏紅花瓶	明治～昭和時代（19～20世紀）	
	29	河井寛次郎	草絵食籠	昭和9年（1934）頃	
	30	河井寛次郎	練上鉢	昭和10年（1935）	
	31	北出塔次郎	枇杷図陶管	大正～昭和時代（20世紀）	
	32	初代 伊東陶山	織部写花器	大正6～9年（1917～20）	
	33	飯塚琅玕斎	竹籠花入	大正～昭和時代（20世紀）	
	34	津田久米自	臈銀四神文盆	昭和5年（1930）	
	35	香取秀真	鑄銅獅子水滴	大正14年（1925）	
36	香取秀真	鳳凰飾香炉	昭和26年（1951）		

展示室	No.	作者名	作品名	時代	所蔵
第3章 近代の絵画					
4階	37	横山大観	扇子箱下図	昭和時代（20世紀）	永青文庫蔵
	38	横山大観	観音春冬山水図	大正時代（20世紀）	
	39	横山大観	朝晴雪	大正8年（1919）	
	40	横山大観	朝陽映島	昭和14年（1939）	
	41	下村観山	花卉図屏風	明治～大正時代（20世紀）	
	42	下村観山	短冊貼交屏風	明治～大正時代（20世紀）	
	43	鎚木清方	海辺図小襖	明治～大正時代（20世紀）	
	44	中村岳陵	獅子牡丹図	昭和3年（1928）	個人蔵
	45	横山大観	山脈図小襖	大正10年（1921）頃	永青文庫蔵
	46	横山大観	月に雲図小襖	大正10年（1921）頃	
	47	横山大観	鳥図小襖	大正～昭和時代（20世紀）	
	48	小林古徑	鳥図小襖	大正～昭和時代（20世紀）	

※展示替はありません

※都合により出品作品が変更になることがあります

高野松山略歴

明治22年5月2日 父、肥後藩主細川家譜代の臣のちに教員となった高野宣吾と母、天与の次男として生まれる
 明治29年4月 熊本県飽託郡池上村尋常小学校入学
 明治35年4月 熊本県飽託郡立工業徒弟学校漆工科入学。熊本には肥後鞠の伝統で漆工があった
 明治39年3月 同校卒業
 明治40年4月 京都市立美術工芸学校漆工科入学。蒔絵を富田幸七に学ぶ
 明治44年3月 同校卒業
 明治44年4月 東京美術学校漆工科入学。特に教授白山松哉（福松、嘉永6年～大正12年）に親しく学び、その技術の奥義を授かる。松哉の死に際して松山の号を贈られる。その他に堀井正文（政吉）・石井士口（吉次郎）・二代目橋本市蔵らにも親しく学ぶ
 大正5年3月 同校卒業、引続き研究科在籍
 大正8年3月 研究科3か年修了
 大正8年4月 東京美術学校助手となり、漆工科勤務を命ぜらる
 大正13年5月 細川邸内に転居
 昭和7年10月 帝国美術院展覧会工芸部出品、特選受賞「柏・木菟之図蒔絵衝立」
 昭和8年4月 東京美術学校を講師として退職
 昭和8年10月 帝国美術院展覧会出品、特選受賞「おはぐろとんぼ窟」
 昭和11年2月 改組した帝国美術院展覧会において推奨となる。「蝦模様蒔絵手箱」
 昭和13年10月 文部省美術展覧会審査員を命ぜらる
 昭和25年10月 日本美術展覧会審査員を命ぜらる
 昭和27年7月 日本美術展覧会第四科参事となる
 昭和28年10月 日本美術展覧会審査員を命ぜらる
 昭和30年2月 重要無形文化財「蒔絵」保持者として認定される
 昭和31年5月 細川邸内から新居へ移転
 昭和40年11月 紫綬褒章受章
 昭和50年4月 勲三等瑞宝章受章
 昭和51年3月5日 死去（享年86）

参考 「無形文化財記録 工芸技術編4 蒔絵」文化庁、昭和48年
 「高野松山」展図録、熊本県立美術館、昭和52年